



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

No.441 2017.8.2

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談はお気軽 **090-2156-3510**

国連で
禁止条約
が採択

核兵器は廃絶を



横断幕を先頭に平和行進をおこなう池内さおり衆院議員(左から2人目)、そねはじめ都議(右から2人目)ら

北区
↓
豊島区

国民平和大行進

原水禁世界大会の成功に向けて、北海道から東京、広島へと歩きつなぐ国民平和大行進。今年も7月26日に板橋からバトンを受け取り、27日、中央図書館前の旧稲荷公園から、豊島区・中池袋公園まで引き継ぎました。(のの山けん)

出発前、旧稲荷公園では、行進の通し参加者や区内各団体の代表が集まり、決起集会がおこなわれました。

日本共産党の、そねはじめ都議は、「国連会議で画期的な核兵器禁止条約が批准されて初めての世界大会です。核兵器廃絶に向け、大きな転機となる大会として成功させましょう」と訴え。池内さおり衆院議員も、激励のあいさつをおこないました。

東京学生ツアーとして大会に参加する大学生ら十数人も行進に加わり、参加者を励ましました。

今年の原水爆禁止世界大会は、3日から広島で国際会議、5、6日に広島大

3日から原水爆禁止世界大会 核兵器禁止条約批准へ前進を

会、7、9日にメイソンの長崎大会が開かれます。北区の代表団には、日本共産党北区議員団から、本田正則、ながいともこの両議員が参加します。

国連で採択された核兵器禁止条約は、人類史上初めて核兵器を違法化し、「悪の烙印」を押す画期的なものです。世界大会は、核保有国や核兵器依存国をも巻き込み、各廃絶への世論と運動を前進させる重要な契機となります。

とりわけ唯一の被爆国である日本に条約を批准させるために、「ヒバクシャ国際署名」をはじめとする運動を、さらに強化することが必要となっています。

都市計画道路の抜本的見直しを

特定整備路線全都連絡会・都市計画道路問題連絡会が国交省に要請



国交省の担当者に要請書を手渡す住民の代表ら =7月28日、国会内

7月28日、特定整備路線全都連絡会と都市計画道路問題連絡会は国会内で、国土交通大臣に対し、都市計画道路の抜本の見直しを求め、要請書を提出しました。

要請には、日本共産党の池内さおり衆院議員、谷川智行衆院比例予定候補、米倉春奈、

星見てい子両都議が同席しました。

コミュニティや商店街、自然環境などを乱暴に壊し、71年前の都市計画決定の法的瑕疵が疑われる特定整備路線については、都内で事業化されている28路線のうち、13の地域で反対の住民運動が起っています。すでに、

志茂86号線や品川、板橋で裁判が争われているのに加え、1日には十条の73号線でも住民が提訴に踏み切りました。

要請では、国がすみやかに事業認可を取り消し、東京都に対して、東も事業計画の見直しを促す

よう求めました。

事業化された路線も見直し対象に

国交省は6月に閣議決定された「骨太の方針2017」で、「都市計画道路の見直しを加速する」との方針を決定。要請では参加者の「すでに事業化されている路線も見直しの対象となるのか」との質問に、国交省の担当者は「認可されているところも含む。自治体の判断だ」と回答しました。(のの山けん)



発言する池内さおり衆院議員(左)

北区民主商工会

夜のミニオリエンテーリング

食べて、飲んで、歌って



7月27日、豊島町を舞台にした北区民商の夜のミニオリエンテーリングが開かれ、3軒のお店をまわりました。

どの店でもお酒と料理を堪能。カラオケ歌い放題の店もあり、楽しい一夜を過ごすことができました。(のの山けん)